

昨年度からの課題	今年度の取組	平成29年12月末
<p>◎社会的孤立等の状態にある人への支援について</p>	<p>◎自立までのステップアップにかなりの時間を要するため、社会資源の活用を図り、きめ細かな支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 『阪神南障がい者就業・生活支援センター』の面接練習に参加する。 ② 『ひょうご発達障害者支援センター「クローバー」芦屋ランチ』との連携を強める。 ③ ひきこもり状態の人の支援については、『若者相談センター「アサガオ」』と連携しながら対応する。 ④ 対象者のニーズに応じて、多種多様な支援メニューに取り組む。 	<p>◎関係機関とのネットワークの構築を図り、支援につながった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 面接練習は個人だけでなく集団で行い、実際に近い体験を通して、面接のイメージ作りができた。 ② 「クローバー」の面談に同席し、アセスメントを得ることで、支援の方向性を確認できた。 ③ 「アサガオ」主催のセミナーを利用することを通して、通院することができるようになった。 ④ パソコン練習は個々のレベルに対応し、スキルアップにつながった。グループセッションには出張講座も取り入れ、集団の中へ入ることができるようになったケースもあった。
<p>◎潜在的な利用者について</p>	<p>◎総合相談窓口のみならず、関係機関との連携を強め、潜在的な対象者の把握に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 自立相談支援事業への関わりをさらに積極的に行い、連携を強める。（支援調整会議への参加。） ② 自立相談支援事業の就労支援に初期の段階から関与する。 ③ 『阪神南障がい者就業・生活支援センター』への就労相談のうち、障がい者手帳を所持していない相談者への支援に積極的に関わる。 ④ 就労準備支援事業の支援メニューの周知を図る。（支援メニューの一覧を作成、丁寧な説明を行う。） 	<p>◎総合相談窓口のみならず、関係機関と連携できたことにより、高齢者生活支援センターや保健センターなど、関係機関からの相談が増加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 支援調整会議（毎月）、事例検討会（隔月）への参加により、困難ケースの情報共有ができた。 ② 自立相談支援事業の面談に同席するケースが増え、職場定着支援や就労意欲喚起などについて、自立相談支援事業との一体的支援を行うことがよりスムーズになった。 ③ 『阪神南障がい者就業・生活支援センター』への相談のうち、障がい者手帳を所持していない相談者への就労相談に関わることで、潜在的な利用者の掘り起こしにつながった。 ④ 就労準備支援事業の支援メニューを作成し、関係機関へ配布したことで、潜在的な利用者の掘り起こしにつながった。